

平成 29年 9月 29日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	益田県土整備事務所	氏名	佐藤 彩花
派遣先 団体名	息域スペース ポコ・ア・ポコ		

① 研修の日時

平成29年9月5日(火)～7日(木)、20日(水)、21日(木) 9:00～16:00

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

5日 自己紹介、共同作業(自主製品の作成)

6日 共同作業、生け花体験

7日 共同作業、ポコ・ア・ポコの活動・福祉の課題、NPO法人としての課題などの説明

20日 共同作業、関係施設や事業所の見学、語りと歌

21日 共同作業、研修の振り返り

・共同作業

ウエスを使用した自主製品の作成。かたどりやミシン縫い、切ったり結んだりという様々な作業を行い、製品を作成した。会話をしながら、利用者の方と一緒に作業を行った。

・生け花体験

生け花の先生がボランティアで来ておられ、利用者の方と一緒に生け花を行った。



③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

この度、島根県の「もっと現場を知る！職員短期派遣研修」にて、9月5日～7日、20日～21日の計5日間、息域スペース ポコ・ア・ポコに伺いました。

島根県職員として、福祉関係の仕事に携わったことがなく、知識が乏しいままお邪魔させていただきましたが、みなさんに暖かく迎えていただき、穏やかな研修期間を過ごすことができました。

私がこの度職員派遣を希望したのは、障害者福祉について知識として知るだけでなく、経験として関わることで、現場の空気を感じることで、実感として少しでも理解したいと思ったからです。計5日間という短い期間ではありましたが、実際にみなさんと話したり、ポコ・ア・ポコ立ち上げの経緯や動機、福祉の現状についてなどの話を聞く機会を設けていただいたりしたことで、自分なりに現状を知り、問題意識を持つことができました。

この5日間で一番印象に残ったのは、みなさんがとても自然に自分自身や他人のスピードの違いを受け入れている、ということでした。「いいんだよ」「それでいいからね」と、それぞれが違った生き方で生きているということを肯定してくれるように感じました。それがポコ・ア・ポコの目指しておられる、息のできる生きるスペース作りなのだとすることを、肌で感じました。

島根県職員として、今後の人生を生きていく上で、大切なものを得た研修となりました。この場を借りて、息域スペース ポコ・ア・ポコのみなさまにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。